

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
生活の基本						講義		外部講師 専任教員	
授業の目的および概要									
看護は、生命を守るだけでなく、対象者の生活を理解し、その人が望む生活を送れるよう支援する役割を担っています。対象者の生活や暮らしを支援するためには、人の生活・暮らしとは何か、日常生活を構成するものや、基本的な生活習慣、物の考え方や知識(常識)を理解する必要があります。また、生活を支えるための看護技術は科学的根拠を持ち、安全で安楽なケアを提供する必要があり、その土台の一つは物理学です。 ここでは、生活していくために必要な最低限の知識や技能について学び、社会人基礎力を身に付けることおよび、それらの知識や、技能を理解して看護活動に使用することを目的としています。									
到達目標									
1. 社会人としてのマナーを身に付け行動できる 2. 日常生活を営むために必要な衣・食・住を具体的に述べることができる 3. 力・熱計算を習得し看護活動において応用できる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	看護の本質、共通看護技術、食事・排泄援助技術、活動・休息援助技術			
	◎	◎			◎				
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 社会人とは	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・社会人になるために必要なこと ・社会人基礎力とは				専任教員	事前：シラバスの内容を事前に確認する 事後：講義を受け、自分の考えをまとめる		
第2回	社会人基礎力①	・前に踏み出す力 ・1) 主体性 2) 働きかけ力 ・3) 実行力				専任教員	事後：講義内容の復習		
第3回	社会人基礎力②	・考え抜く力 ・1) 課題発見力 2) 計画力 ・3) 創造力				専任教員	事後：講義内容の復習		
第4回	社会人基礎力③	・チームで働く力 ・1) 発信力 2) 傾聴力 ・3) 柔軟性 4) 状況把握力 ・5) 規律性 ・6) ストレスコントロール力				専任教員	事後：講義内容の復習		
第5回	社会人基礎力④	・社会人基礎力強化に向けて ・自分に必要な社会人基礎力				専任教員	事後：自分に必要な社会人基礎力を意識して生活してみる		
第6回	社会人としてのマナー (私生活編)	・地域、社会で生活していくために良好な人間関係を育むために必要な礼儀 ・①TPOに合わせた身だしなみ ②自己紹介 ③座る位置(車内を含む)、立ち位置 ④屋内へ入るときのマナー ⑤お土産の選び方、渡し方 ⑥手紙の書き方				外部講師	事後：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる		

第7回	社会人としてのマナー (社会編)	• TPOに合わせた身だしなみ・名刺交換 • 電話の対応・メールの対応・お礼状やお詫び状・宛名の書き方	外部講師	事前：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる
第8回	基本的な生活習慣①	• 日常生活を営むために必要な衣類について ①衣類の必要性 ②四季に合わせた衣類の選択 ③衣類に使用されている素材について • 日常生活を営むために必要な食について ①食器や箸の置く場所 ②四季を感じる料理 ③旬の食材と新鮮さの見分け方 ④五感を使った食事の意義 ⑤生産と消費 ⑥献立の考え方と食材の調達	外部講師	事前：自分の衣類に使用されている素材を知る 事後：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる
第9回	基本的な生活習慣②	• 日常生活を営むために必要な生活について ①掃除の仕方 ②掃除道具の選定 ③ゴミの分類 ④洗濯の仕方、干し方、たたみ方 ⑤洗剤(柔軟剤)の選択 ⑥食器の洗い方 ⑦所得、収入	外部講師	事前：住んでいる地域のゴミの分別について調べる 事後：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる
第10回	基本的な生活習慣③	• 日常生活を営むために必要な住居について ①間取りの名称 ②湿気や換気 ③防犯 ④庭の管理 ⑤整理、収納	外部講師	事前：防犯対策を調べてくる 事後：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる
第11回	身近な人々との接し方	• 家族や友達、教員をはじめ、地域の様々な人々と適切に接する技能 ①挨拶 ②敬語の使い方 ③感謝やお礼の伝え方 ④お願いやお断りの仕方	外部講師	事前：敬語とは何か調べてくる 事後：講義で得た知識を意識し生活の中に取り入れる
第12回	公共の場の利用とマナー	• みんなで使うものや場所、施設を大切に正しく利用する ①公共の場とは ②施設や施設内の物品を破損した場合 ③公共の場でのマナー	外部講師	事後：公共でのマナーについて今後の自己の取り組みについて考える
第13回	生活の中の数字と計算	• 生活の中にある計算を考える • 生活の中の数字や計算と看護のつながり	専任教員	事後：講義内での計算方法を復習する
第14回	生活の中の電気・電力	• 電気および感電に関する基本的な知識 • 電気と看護のつながり	専任教員	事前：身の回りにある電気を調べてくる
第15回	筆記試験		専任教員	
評価方法				
筆記試験 100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
調べたものについては、授業で使うため記載してきましょう。授業で使用する物品は忘れず持参してきましょう。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 15 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
考える力						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
看護の様々な場面で人とのコミュニケーションが求められますが、その際、自分の考えを筋道をたてて相手に分かりやすく伝える能力を身につけておく必要があります。その能力は、私たちが日々使っている「言葉」の働きに注目し、「言葉」の世界で働く「論理」についての知識を深めることで習得することができます。そのような論理的思考の能力を養うことが、この授業の目的です。具体的には、正しい接続詞の使い方、相手を説得するための議論の組み立て方、そして、プレゼンテーションの実践などが授業のトピックになります。									
到達目標									
1. 論理的思考を考える視点について説明できる 2. 自分の考えを相手が納得できるよう表現できる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	生活の基本、情報リテラシー、創造する力、心理学、チーム医療			
◎			◎	◎					
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	論理的思考とは何か	・授業ガイダンス ・論理的思考についての説明				外部講師	事前：シラバスの内容を事前に確認する		
第2回	演繹と帰納	・論理的思考の二つの型について学ぶ				外部講師	事後：演繹と帰納の違いを復習する		
第3回	接続詞の使い方	・接続詞の正しい使い方を学ぶ				外部講師	事後：接続詞についての課題を行う		
第4回	暗黙の前提、仮説形成	・暗黙の前提について学ぶ ・仮説形成の方法				外部講師	事後：暗黙の前提・仮説形成についての課題を行う		
第5回	逆は必ずしも真ならず	・逆・裏・対偶について学ぶ				外部講師	事後：逆・裏・対偶についての課題を行う		
第6回	ディベートの基礎	・ディベートのテーマの確認 ・グループ作業				外部講師	事後：グループで資料集めなどの準備をする		
第7回	ディベートの実践	演習内容 ・ディベートを実施				外部講師 演習	事後：実践してみたの感想・学びを述べる		
第8回	筆記試験					専任教員			
評価方法									
筆記試験 : 100% ディベートをもとにした論述試験。その中で接続詞の使用など、授業で教えた知識が正しく活用されているか、確認する。									
授業を受けるにあたっての留意点など									
「論理」と聞くと難しく感じるかもしれませんが、要は、自分たちが普段使っている日本語表現をじっくりと見直してみるといことです。作文に苦手意識がある人こそ、真剣に取り組んでもらいたいと思います。									

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						2年次 前期		1単位 15時間	
科目名						科目種類		担当教員	
人を育む力						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
看護は対象のニーズを把握し、その人がその人らしく望む生活を送れるよう支援していきます。そのためには物事を正しく捉える力と対象者がセルフマネジメントできる力を育めるよう関わる必要があります。そして、看護者自身が活気にあふれ心豊かに生活していることは質の良い看護の提供へ繋がります。日々の暮らしの中で、自分らしく生きるためには、自分自身を育み豊かにすることや、自己実現に向けロジカルに物事を考えられる力や自己の考えを言葉にできる力が必要となります。 ここでは、現代教育現場が抱える諸問題を、児童生徒・保護者・教職員が生き活きと暮らしていけるよう、論理的に解決する方法を自分なりに考えることを目的としています。									
到達目標									
1. 教育の意義を説明できる 2. 看護における生涯学習の必要性を具体的に述べられる 3. 現代教育現場が抱える諸問題が理解できる 4. その解決方法を、討議などを通して柔軟に考え、論理的に自分なりに見出すことができる									
この授業が目的としているDPや関連する科目									
DPとの関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、倫理学、心理学、人間関係論、共通看護技術			
◎	◎								
教科書・参考図書									
基礎分野 教育学 医学書院									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 現代教育の諸問題について考える	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・いじめ、不登校、学級崩壊、スクールカーストなどを中心に				外部講師 講義	事前：シラバスの内容を事前に確認する 事後：提示された課題に取り組む		
第2回	学級集団づくり	・構成的グループエンカウンターの演習をとおして				外部講師 講義演習	事後：提示された課題に取り組む		
第3回	学校の教師について考える	・塾の講師との比較などをとおして ・生涯学習の必要性の理解				外部講師 講義	事後：提示された課題に取り組む		
第4回	特別支援教育について	・「障がい者個性論」や「インクルーシブ教育論」などをとおして				外部講師 講義	事後：提示された課題に取り組む		
第5回 第6回	子どもの自立について考える	・DVD「魔女の宅急便」の視聴をとおして				外部講師	事後：提示された課題に取り組む		
第7回	現代教育の新課題について考える	・シティズンシップ教育、ジェンダー教育、子どもの権利などをとおして				外部講師 講義	事後：提示された課題に取り組む		
第8回	筆記試験					専任教員			
評価方法									
筆記試験：50%、講義後の各課題：50%									
授業を受けるにあたっての留意点など									
人は常に成長発達をしており、自己実現していくためには、生涯を通して学ぶ必要があります。また、看護を実践する際、対象者へ教育的支援をすることがありますので、そのノウハウを身に付けられるよう積極的に取り組んでいきましょう。									

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 後期		1 単位 30 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
倫理学						講義		外部講師 専任教員	
授業の目的および概要									
わたしたちは一般に「人のものを盗むのは悪い」「人に親切にするのは善いことだ」というように、善悪について語るが、いったい何が善で何が悪なのか、これを明らかにするのがこの授業の目的である。しかし、善悪について理屈で知っても、いっそうに善なる行為へ向かわないのでは、本当にわかったということにならない。 この授業では、日ごろの忙しさ、目先の欲望などに覆われて見えにくくなっている、自分の中にある善なる心(それは本当の自分の心といってもよい)、それへの気づきが生じるような話をしたい。 また、看護現場は常に倫理的課題があり、看護の初学者として「よりよい看護とは何か」を考え、倫理的な行動がとれるように看護倫理について学ぶことを目的とします。									
到達目標									
1. 生命の尊さや、環境保護など、主要な方法論について初学者として考えることができる 2. 医療・看護における倫理規範と看護師の役割について考えることができる 3. 事例検討を通して問題解決の取り組み方法を学び、実習で倫理について考えることができる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	心理学、人間関係論、考える力、情報リテラシー、暮らしと法、看護の本質、共通看護技術			
◎	◎			◎	◎				
教科書・参考図書									
別巻 看護倫理 医学書院									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 倫理学①	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・倫理の根本となるもの				外部講師	事前：シラバスの内容を事前に確認する		
第2回	倫理学②	・「真実の自己」に目覚める -死を見つめること-				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第3回	倫理学③	・黒澤明の映画「生きる」から学ぶ				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第4回	倫理学④	・愛と孤独				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第5回	倫理学⑤	・エゴイズムと「孤立」の問題				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第6回	倫理学⑥	・宗教とは何か -科学と宗教の関係-				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第7回	倫理学⑦	・前章の続き ・全体のまとめ				外部講師	事後：授業内容を復習する		
第8回	看護倫理	・倫理とは何か ・職業倫理としての看護倫理				専任教員	事後：看護倫理について復習する		
第9回	学生の倫理	・本校の倫理から考える ・日常的な倫理的ジレンマの事例検討				専任教員 GW	事前：学生便覧を読んでくる		

第10回	医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理	• 患者の権利とインフォームドコンセント • 意思決定支援と代理意思決定 • 守秘義務と個人情報保護 • SNS上の漏洩	専任教員	事後：授業内容を復習する
第11回	医療専門職の倫理規定	• 看護の倫理原則 • 看護実践と倫理	専任教員	事後：看護の倫理原則をまとめる
第12回	看護者の倫理綱領	• 事例から「看護者の倫理綱領 条文」を理解する • 条文の理解、意見交換	専任教員 GW	事前：「看護者の倫理綱領 条文」を読んでくる
第13回	事例検討①	• 事例から倫理的ジレンマ、倫理的態度 • 倫理問題へのアプローチ法	専任教員 GW	事後：倫理的ジレンマの事例を読んでくる
第14回	事例検討②	• GW発表会 • まとめ	専任教員 GW	事前：発表会資料を読んでくる
第15回	筆記試験		専任教員	
評価方法				
平木先生：50% 2回目の授業から、授業の終わりにその時の授業内容が理解できているかを問う簡単なテスト（10分程度、記述式）を行う。これらの小テストを基に評価する。 専任教員：50% 筆記試験				
授業を受けるにあたっての留意点など				
学習者として日頃から自身の倫理観を養う上で大事な考え方を学ぶ科目です。難しい言葉も、聞きなれないことも多いと思いますが、一回一回の授業では、一生懸命考え自分なりの答えを出してください。平木先生の事業中意外で質問のある時はメールで問い合わせること。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
情報リテラシー						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
ICT技術は刻一刻と変化しています。情報の信頼性を把握するスキル、情報に関するセキュリティや倫理に関する知識もますます重要になって来ています。これらを使いこなす技能や知識のことを情報リテラシーと呼びます。ここでは、これからの学生生活において必要となる情報リテラシーを身につけることを目的とします。									
到達目標									
1. 「読む」・「調べる」・「書く」・「プレゼンテーション」スキルについて理解し、それを実践できる									
2. 情報を取り扱う上での倫理的配慮について説明することができる									
3. Microsoft WORD、EXCEL、POWERPOINTの基本的な操作が実践できる									
この授業が目的としているDPや関連する科目									
DPとの関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、看護の本質、健康と社会、心理学、共通看護技術			
		◎		◎					
教科書・参考図書									
情報教育研究会 情報倫理教育研究グループ インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版 実教出版株式会社									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 情報の取り扱い	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ①情報とは ②看護におけるデータ・情報の特徴 ③PCの基本操作の概要				外部講師	事前：シラバスの内容を事前に確認する		
第2回	コンピューターリテラシーと情報リテラシー	・コンピューターリテラシー ・情報リテラシー ・情報セキュリティ ・情報発信				外部講師	事前：リテラシーとは何か各自調べてくる		
第3回	情報倫理と法①	・情報倫理とは ・プライバシーと守秘義務 ・個人情報保護に関する法 ・臨地実習における患者情報の取り扱い				外部講師	事後：練習問題に取り組む		
第4回	情報倫理と法②	事例展開(ソーシャルメディアの使い方) ▶①ソーシャルメディアを利用した情報収集 ▶②ソーシャルメディアで発信するメリット				外部講師 GW①	事後：事例展開①②に取り組む		
第5回	情報倫理と法③	事例展開(ソーシャルメディアのトラブル) ▶③ソーシャルメディアでの情報漏洩 ▶④ソーシャルメディアにあげられた写真				外部講師 GW②	事後：事例展開③④に取り組む		
第6回	情報倫理と法④	事例展開(医療情報と患者支援) ▶⑤信頼できる情報とは ▶⑥個人の体験談とは				外部講師 GW③	事後：事例展開⑤⑥に取り組む		
第7回	「読む」「書く」「調べる」スキル①	・Microsoft WORDの使い方 ①ヘルプの使い方 ②書式設定 ③ページ設定 ④印刷設定 ⑤図表の作り方 ⑥文書の装飾 ⑦画像の取り込みと設定				外部講師	事後：Microsoft WORD練習問題に取り組む		
第8回	「読む」「書く」「調べる」スキル②	・文章・論証的文章の読み方 ・情報検索の方法 ・医中誌で文献検索してみよう				外部講師 演習① (視聴覚室)	事後：医中誌で文献検索した文献を300字以内でまとめる		

第9回	「読む」「書く」「調べる」スキル③	• Microsoft WORDを用いて看護学生研究発表会の書式で文章を書いてみよう • レポートを書いてみよう	外部講師 演習②	事後：レポートに取り組む
第10回	「計算」「グラフ」スキル①	• Microsoft EXCELの使い方 ①基本操作 ②グラフの作り方 ③印刷設定 ④表計算の仕方	外部講師 演習③	事後：Microsoft EXCEL練習問題に取り組む
第11回	「計算」「グラフ」スキル②	• 表の作成 • グラフの作成 • 表計算をしてみよう	外部講師 演習④	事後：表・グラフを書いてみる
第12回	「プレゼンテーション」スキル①	• Microsoft POWERPOINTの使い方 ①基本操作、ヘルプの使い方 ②ワープロデータや図の取り込み ③図の加工 ④プレゼンテーション ⑤発表に向けて必要なこと	外部講師 演習⑤	事後： • Microsoft POWERPOINT練習問題に取り組む • プレゼンテーション内容決定
第13回	「プレゼンテーション」スキル②	• プレゼンテーション① - テーマ：なりたい看護師像 - 発表5分+質疑応答2分×10G(70分)	外部講師 プレゼン	事前：プレゼンテーション
第14回	「プレゼンテーション」スキル③	• プレゼンテーション② - 発表5分+質疑応答2分×3G(30分) • まとめ	外部講師 プレゼン	事前：プレゼンテーション
第15回	筆記試験	• まとめ	専任教員	
評価方法				
筆記試験：50% 授業の参加状況（リアクションペーパーで確認）：10% 演習①～⑤の理解度（練習問題で確認）：15% GW課題①～③：各5% プレゼンテーション：10% ※授業や演習については授業中の質問やこちらから投げかけた問いに対する回答を高く評価します。				
授業を受けるにあたっての留意点など				
欠席すると次の回の授業はとたんに理解しにくくなります。欠席した場合には友人や担当教員に聞くなどして欠席分の内容を必ず確認しておいてください。 この授業は積み重ねの構成になっています。毎回の内容を忘れないようにしてください。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 30 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
創造する力						講義		専任教員 外部講師	
授業の目的および概要									
看護の対象者は疾患が同じであってもそれぞれ抱えている悩みやニーズは違うため、提供する看護は同じにはならず、その人にあった内容や方法を考え実施していく必要があります。援助1つとっても方法は沢山あり答えは1つではないということです。対象者に合った看護を提供するためにはイマジン(想像)してリアライズ(創造)する力が必要になります。 ここでは、「感じる→考える→作る→伝える」のスパイラルを個々が身に付け、チームで協働していく際に、身に付けた能力を発揮し実践していく力を養うことを目的としています。									
到達目標									
1. 常識に囚われず、斬新かつ豊かな発想で創造することができる 2. チームメンバーとして創作ダンスに積極的に参加できる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、情報リテラシー、心理学、共通看護技術、チーム医療			
	◎		◎		◎				
教科書・参考図書									
教科書なし 参考図書：大岩直人、下浜臨太郎 おとなのための創造力開発ドリル 株式会社インプレス									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 創造するとは	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・創造と想像の違い ・創造するために必要なこと ・形態を変えてみよう ・テーマに沿って、創造する				専任教員 GW	事前：シラバスの内容を事前に確認する 事後：創造力向上を目指し日常生活で実施することを決める		
第2回	創造力開発①	・意味を変えてみよう ・テーマに沿って、どのようなものを創りだすか考え、作成する				専任教員 個人ワーク GW	事後：作品の続きを作る		
第3回	創造力開発②	・概念を変えてみよう ・テーマに沿って、作成する				専任教員 個人ワーク GW	事後：作品を完成させる		
第4回	創造力開発③	・発表会 ・発表を聞いて、良い点、改善点を出し合う ・改善点について修正をする				専任教員 個人ワーク GW	事後：課題①創造力がどのように変化したか述べる		
第5回	まとめ	・チームで協働して創造する必要性とは ・創造する力を看護でどのように活用していくか				専任教員	事前：協働する上で創造が必要な理由と看護に創造がどのように関連するかを考える		
第6回	基本ステップ	・ストリートダンスの基本的なリズムの取り方を学ぼう アップ、ダウン ・ストリートダンスの基本的なステップを学ぼう ツーステップ、ボックスステップ ・講義「表現とは何か？」				外部講師 演習 (講堂)	事後：基本ステップの復習 基本的なリズムの復習		

第7回	現代的なリズムのダンス	・ヒップホップダンスの代表的なステップを学ぼう ・ロックダンスの代表的な技を学ぼう ・振り付けを覚えて踊ってみよう	外部講師 演習 (講堂)	事後：基本的なリズムの復習 基本ステップの復習
第8回	創作に挑戦	・グループに分かれて指定された箇所を創作してみよう	外部講師 演習 (講堂)	事後：チームで一丸となって作り上げるために必要なことは何か考えてくる
第9回	創作ダンスのテーマ決定	・創作ダンスとは ・何を表現したいのか話しあい、テーマを決める ・どんなリズムや動きを取り入れるのか ・使う音楽は何にするのか ・構成や隊形はどうするか	外部講師 GW	事前：ダンスを考える時に必要となる「要素」について考えてくる
第10回	創作ダンス①	演習内容 ・考えたダンスを踊りながら形にしていく ・リズムや動きを修正する ・全体の1/3程度は形にする	外部講師 演習 (講堂)	事後：創作ダンスの自己練習
第11回	創作ダンス②	演習内容 ・前回の続きを形にする ・リズムや動きを修正する ・全体の2/3程度は形にする	外部講師 演習 (講堂)	事後：創作ダンスのチーム練習
第12回	創作ダンス③	演習内容 ・概ね完成させる ・音楽に合わせて踊り、修正する	外部講師 演習 (講堂)	事後：創作ダンスのチーム練習・自己練習
第13回	創作ダンス④	演習内容 ・完成した内容を文章にまとめる ・音楽に合わせて踊り、動画撮影する ・動画で動きの確認を行い課題が明らかにできる	外部講師 演習 (講堂)	事後：創作ダンスのチーム練習・自己練習
第14回	創作ダンス完成	演習内容 ・課題を解決するために取り組む	外部講師 演習 (講堂)	事後：創作ダンスのチーム練習・自己練習
第15回	発表会	・各グループの発表 ・各チームへコメント	外部講師	事後：発表会を通して創造するとは
評価方法				
創作に取り組む過程での評価: 50% チームで協働して創造する姿が見られたか レポート: 50%「看護をする上で創造する力がなぜ必要か」1200字以内				
授業を受けるにあたっての留意点など				
この科目に正しい答えはありません。つまりすべて正解です。常識にとらわれず、楽しんで柔軟な発想で取り組んでいきましょう。他者と比較する必要もありません。違いに気づき、良いものは吸収していく姿勢で取り組みましょう。 創作ダンスではチームメンバーとして積極的に意見を言い、他者の意見を受け止め、全員で作り上げていきましょう。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
心理学						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
看護の実践の基礎となるものは良い人間関係です。良い人間関係を築くためには看護の対象となる人々の心理を偏りなく理解することが必要になります。ここでは心理学の基礎的知識を習得し、看護の対象である人間の心や行動のメカニズムを知り、多面的な理解を深めていきます。また、看護場面で応用できる患者の理解や看護者自身の理解、面接やカウンセリングについて理解を深めることを目的としています。									
到達目標									
1. 人間の心理や行動のメカニズムとその発達について理解することができる 2. 人間関係の基本的な心理状況や社会的適応について理解することができる 3. 看護場面で活用できる心理的援助の考え方や方法を理解することができる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、こころの健康、看護の本質、情報リテラシー、共通看護技術			
◎				◎	◎				
教科書・参考図書									
基礎分野 心理学 医学書院									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 心理学の概要	・心理学はどのような学問か ・心理学の歴史、現代の心理学 ・心理学の研究手法				外部講師	事前：シラバスを読んでくる		
第2回	人間を理解するための心理	・感覚・知覚とは ・感覚のしくみと働き ・知覚のしくみと働き				外部講師	事後：復習をする		
第3回	学習・記憶の心理	・学習とは、学習の理論 ・記憶のメカニズム ・感覚記憶と短期記憶 ・長期記憶と忘却				外部講師	事後：復習をする		
第4回	感情・動機の心理	・感情とは、感情のメカニズム ・動機づけとは、動機の理論				外部講師	事後：復習をする		
第5回	性格・知能の心理	・性格とは、性格の理論 ・パーソナリティの障害と成熟 ・知能機能と創造性				外部講師	事後：復習をする		
第6回	発達の心理 ①乳幼児・児童期、青年期	・発達とは ・乳幼児期の発達 ・児童期の発達 ・青年期の発達				外部講師	事後：各段階別に心理の特徴をまとめる		
第7回	発達の心理 ②成人・老年期	・成人期の発達 ・高齢期の発達				外部講師	事後：各段階別に心理の特徴をまとめる		
第8回	医療・看護と心理	・医療職と対人援助 ・患者の心理 ▶ 事例展開				外部講師 事例検討	事後：復習をする		

第9回	医療・看護職 のケア	- 医療・看護職の心理 - 医療・看護職のケア ▶事例展開	外部講師 事例検討	事前：各自ストレス解消法を考 えてくる
第10回	臨床心理学 の基礎	- 臨床心理の基礎 - 患者の心理 - 医療職と対人関係	外部講師	事後：復習をする
第11回	心の適応と 不適応	- ストレスと適応 - こころの問題と心理学の役割 - さまざまなこころの問題	外部講師	事後：自分のストレスやコーピ ングについてまとめる
第12回	心理療法	- 精神分析療法 - 行動療法 - 認知行動療法	外部講師	事後：復習をする
第13回	カウンセリング①	- 健康の心理と人間理解 - カウンセリングとは	外部講師	事後：復習をする
第14回	カウンセリング②	カウンセリングの実際	外部講師	事後：復習をする
第15回	筆記試験	まとめ	専任教員	
評価方法				
筆記試験　：100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
予習、復習をして講義に臨んでください。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 後期		1 単位 30 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
人間関係論						講義		専任教員	
授業の目的および概要									
看護は援助を必要とする人と、実践者との密接な人間関係を基盤に成り立っています。援助においては常に人と人との関係性の在り方が看護の質を決めています。看護ケアは患者への気遣いや配慮が基盤であり、他者を理解し尊重する能力が求められます。ここでは、人間関係の基礎的知識と、人間関係を構築するための知識・技術であるコミュニケーションの基礎を学ぶことを目的とします。									
到達目標									
1. 自己理解ができ、人と人との関係性の在り方が分かり、クラス内で実践できる 2. 他者を理解し尊重する知識・技術を学びクラスメイトへの気遣いや配慮ができる 3. 患者・家族・多職種と良い人間関係を築くための方法が分かる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、心理学、倫理学、健康と社会、チーム医療、こころの健康、看護の本質、共通看護技術			
◎					◎				
教科書・参考図書									
深井喜代子編：基礎看護学技術Ⅰ 第6版 メヂカルフレンド社 基礎分野 人間関係論 医学書院 山蔦圭輔他著：基礎からわかる人間関係論 南山堂 松村亜里著：誰もが幸せに成長できる心理的安全性の高め方 WAVE 出版									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回 第2回	授業ガイダンス 人間関係論 自己を知る	・ガイダンス、講義上のルール ・担当講師や評価について説明 ・人と人との間で生きる ・自己とは				外部講師 GW	事後：講義内容の復習		
第3回	自己を知る	・自己を知る ・セルフイメージ ・自分を高める ・アウトカム				外部講師 GW	事後：講義内容の復習		
第4回 第5回	コミュニケーション①	・コミュニケーションの本質 ・円滑なコミュニケーション ・コミュニケーションスキル				外部講師 GW	後：講義内容を日常生活で実践してみる		
第6回 第7回	コミュニケーション②	・コミュニケーションまとめ ・学習段階				外部講師 GW	事後：講義内容の復習		
第8回 第9回	自己と他者 相手を知る	・自己と他者の違い ・心のフィルター ・VAK システム、サブモダリティ				外部講師 GW	事後：講義内容の復習		
第10回	集団と個人	・集団とは ・集団の影響 ・ストレス ・リーダーシップ ・アサーティブコミュニケーション				外部講師 GW	事後：講義内容の復習		

第11回 第12回	円滑なコミュニケーションを阻害するもの カウンセリング	- 相手の内面、深層を引き出す - 心理療法、言語プログラム - LAB プロファイル	外部講師 GW	事後：講義内容の復習
第13回	コーチング	- 相手の内面を引出し、サポート - リフレーミング - 言語による動機付け	外部講師 GW	事後：講義内容の復習
第14回	患者・家族を支える人間関係	- タッチング - 看護現場での色々な状況に対応する - まとめ	外部講師 GW	事後：講義内容を日常生活で実践してみる
第15回	筆記試験		専任教員	
評価方法				
筆記試験：100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
グループワークや演習が多いので積極的に参加しましょう 講義方法に変更がある場合は事前に教員から連絡します				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						2 年次 前期		1 単位 15時間	
科目名						科目種類	担当教員		
地域をつくる人間関係						講義	外部講師 専任教員		
授業の目的および概要									
ソーシャルキャピタルとは、人々の協調行動を活発にすることにより社会の効率性を高め、信頼や規範、ネットワークといった社会組織の特徴です。ここでは、地域に必要とされる看護専門学校生として松本地域のソーシャルキャピタル活動について理解し、ボランティア活動を通じて地域の人々との協調性を養い、理解を深めることを目的とします。									
到達目標									
1. 松本地域のソーシャルキャピタル活動について説明することができる 2. ボランティア活動を通じ地域の人々とふれあい協働できる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、人を育む力、心理学、人間関係論、健康と社会、暮らしと法、倫理学、チーム医療、看護の本質、共通看護技術			
◎		◎	◎		◎				
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス ソーシャルキャピタル	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ①ソーシャルキャピタルとは ②ソーシャルキャピタルの多面性 ③ソーシャルキャピタルの意義				外部講師	事後：課題①ソーシャルキャピタルとはなにか300字以内でまとめる		
第2回	バリアフリー・UD	・ソーシャルキャピタルを活用した自助及び共助の支援 ・松本地域特性に応じた健康なまちづくり ・バリアフリーと市民活動 ・UD・IT ネットワークとの関係				外部講師	事後：課題②松本地域のソーシャルキャピタルの活動内容を調べ300字以内でまとめる		
第3回	ノーマライゼーション	・松本地域のソーシャルキャピタルの醸成・活用に関する活動を行っている実践者によるパネルディスカッション(①地域住民②NPO法人③コミュニティビジネス④行政) ・DVD視聴後ノーマライゼーションについてディスカッション				外部講師	事後：課題②松本地域のソーシャルキャピタルの活動内容を調べ300字以内でまとめる		
第4回	ピアサポート ・ボランティア活動	・ピアサポートとは ・松本地域におけるピアサポート実践例				外部講師	事後：学びの整理		
第5回	・地域づくりと住民①	・社会教育				外部講師	事後：学びの整理		
第6回	・地域づくりと住民②	・松本地域のボランティア活動を通じたまちづくり ・松本市社会福祉協議会ボランティア事業 ・グループ毎ボランティア活動内容を調査し、必要なボランティア活動を検討する				外部講師	事後：発表会に向けて準備		
第7回	・ボランティア活動のまとめ	・地域におけるボランティア活動に関する発表 ・Gごと発表(2～4人Gで10G) ・まとめ				外部講師 発表会	事前：発表会に向けて準備		
第8回	筆記試験					専任教員			
評価方法									
筆記試験：100%									
授業を受けるにあたっての留意点など									
課題を必ずやって次の授業に臨んでください。 GWや演習には積極的に参加してください。									

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
健康と社会						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
人間は社会の中で生きることによって人間として成長します。そのためには、社会の中で生活する人間がどのように行動し、「人間」と「社会」の相互作用や相互関連性を理解する必要があります。まず、人間を取り巻く社会、地域、グローバル化を理解していきます。また、本校のある松本地域のコミュニティ活動や地域の課題について理解していきます。ここでは、地域のコミュニティの中で健康に生活するために必要な仕組みや活動を理解し、自らも地域の中で健康に生活ができるように行動できることを目的とします。									
到達目標									
1. 自分を取り巻く社会や地域と自分との相互作用について理解できる 2. 松本地域のコミュニティ活動について理解できる 3. フィールドワークから松本地域の課題について理解し、自己の地域との関りに結びつけられる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	考える力、情報リテラシー、心理学、チーム医療、看護の本質、共通看護技術			
		◎	◎						
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)		内容						
第1回	授業ガイダンス		・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・「地域をどう考えるか～自分からはじめる」一人1分以内で自己の考えを発表し地域の特徴を知る			外部講師	事前：自分が居住する地域の特徴(コミュニティ活動)を調べる		
第2回	地域とは何か①		・なぜ地域がだめになってきたのか ・むらづくり・まちづくりの背景と課題について学ぶ ▶事例「けやきプロジェクト」			外部講師 GW	事後：課題①「けやきプロジェクト」の特徴について300字以内でまとめる		
第3回	地域とは何か②		・地域に共通のプロジェクトを創ろう ・地域づくりの方策について学ぶ ▶事例「入山辺の地域づくり」			外部講師 GW	事後：課題②「入山辺の地域づくり」について300字以内でまとめる		
第4回	グローバル化と社会①		・多文化共生を考える ・松本地域に暮らす外国人のコミュニティづくりについて学ぶ			外部講師	事後：課題③松本地域に暮らす外国人とのコミュニティについて300字以内でまとめる		
第5回	グローバル化と社会②		・多文化共生と医療 ・松本地域在住の外国人の特徴 ・外国人が医療を受ける際の現状と課題			外部講師	事後：外国人が医療を受ける際の現状と課題について感想を言える		
第6回	災害とコミュニティ		・災害と地域 ・災害に強いまちとは ▶事例「石巻の災害支援」			外部講師 GW	事後：課題④松本地域の災害対策について300字以内でまとめる		
第7回	健康と地域		・住民主体の健康づくり ・地域住民の健康の保持増進に保健補導員や食生活改善委員がどのように関わっているか ▶事例「須坂市の保健補導員制度」			外部講師	事前：課題⑤須坂市の保健補導員制度の活動を300字以内でまとめる		

第8回	松本地域の コミュニティ 活動①	・公民館活動 ・地域づくり ・うるさいおじさん、お婆さんはいるか	外部講師	事後：課題⑥「公民館活動」について1つ選び自分ができるところを300字以内でまとめる
第9回	松本地域の コミュニティ 活動②	・福祉ひろば ・地域に暮らす元気な高齢者との関りを通して福祉ひろばの役割を知る	外部講師	事前：福祉ひろばの活動を調べる
第10回	松本地域の コミュニティ 活動③	・クラフトフェア ・商店街のまちづくり行事への参加	外部講師	事前：クラフトフェアについて調べる
第11回	地域の課題 を考える①	・地域の資源と課題を考える ▶ フィールドワーク準備 ▶ 対象地域の選定・選定理由 ▶ グループ決め、フィールドワークの計画立案	外部講師	事後：課題⑦フィールドワークの意義について一つ選び300字以内でまとめる
第12回	地域の課題 を考える②	演習内容 ・フィールドワーク ・対象地域の選定と地域の資源や課題を掘りおこす	外部講師 GW	事後：課題⑧「対象地域について興味を持ったこと」について自分の考えを300字以内で書きなさい
第13回	地域の課題 を考える③	演習内容 ・フィールドワーク ・フィールドワークの結果を基にグループで地域の資源と課題を整理する	外部講師 GW	事後：課題⑨「地域の資源と課題」のうち一つについて自分の考えを300字以内で書きなさい
第14回	地域の課題 を考える④	・フィールドワークまとめ ・フィールドワークの結果を踏まえ地域づくりについて提言する	外部講師 GW	事前：フィールドワークの結果をグループ毎まとめる
第15回	地域とどう 向き合っ ていくか	・地域づくり（むらづくり・まちづくり） ・子どもや若者が抱える課題と地域における役割 ・地域の新しい経済循環	外部講師 GW	事後：課題⑩「地域をどう考えるか～自分からはじめる地域づくり」について考えを300字以内で書きなさい
評価方法				
課題①～⑩：各10%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
松本地域に関することなので興味・関心をもって、事前学習・事後課題をきちんとしてから授業に臨んでください				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 後期		1 単位 15 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
暮らしと法						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
人々の生活は様々な法律によって支えられています。また、医療・看護の分野に関連している法も多くあります。法律とは何かを知り、ここでは私達のライフサイクルごとに関わる法律について分かりやすく学びます。また、私達が暮らす地域の施策についても理解します。									
到達目標									
1. 社会生活における法の作用や役割について述べることができる。 2. ライフサイクルのなかで必要な法律や制度について説明することができる。 3. 地域で行われている施策について説明することができる。									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	生活の基本、考える力、健康と社会、倫理学、情報リテラシー、人間関係論、総合医療論、チーム医療、看護の本質、在宅看護論入門、こころの健康、家族看護論			
◎			◎	◎					
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 法学概論	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明する。 ・法(法律)とは何か、社会生活における法の役割 ・法律、制度、条約などの違いについて ・日本国憲法、民法、刑法など				外部講師	事後学習：講義を受け、法律の役割について要約する		
第2回	ライフサイクルと法律 1	・届出制 ▶ 人としての権利の発生 ・妊娠・出産、出生、育児に関する制度 ①母子健康手帳②出生届③妊婦検診④国民健康保険の加入⑤出産一時金⑥乳幼児医療費⑦予防接種⑧保育園など ・教育に関する制度 ①就学義務②就学援助制度③高等教育に関する制度・政策				外部講師	事前：出生前に該当する法律や制度について調べる		
第3回	ライフサイクルと法律 2	・成人期に関連する制度 ①国民健康保②国民年金③選挙④労働法⑤婚姻届⑥戸籍⑦住民登録⑧税金⑨健康診断など ・老年期、その他に関連する制度 ①後期高齢者医療制度②国民年金③成年後見制度 ・死亡届など				外部講師	事後：自己の生活がどのような制度で成り立っているかをまとめる		
第4回	届出の実際	演習内容 ・第2回～4回の中で扱った届出について、何を記載する必要があるのかを知るために、1例実際の記載を行う				外部講師 演習	事後：記載した届出を見直し、誤字脱字等の不備がないか確認する		
第5回	地域の暮らしと法律 1	・保健活動の基盤となる法や施策 ・松本市の保健活動に関わる法や施策について ・松本市の保健活動について具体的な内容を調べる				外部講師 GW	事後：グループワークに向け、調べ学習の方法をまとめる		
第6回	地域の暮らしと法律 2	・松本市の保健施策等について (調査のための問い合わせなども可)				外部講師 GW	事前：グループワークで自己の考えを述べられるように準備する		
第7回	グループ発表とまとめ	・グループワークの発表 ・これまでの講義内容から、個人や地域のひと・暮らしを守る法や施策についてのまとめを行う				外部講師	事後：授業全体を通して、法や施策の役割について自己のまとめを行う		
第8回	筆記試験					専任教員			
評価方法									
筆記試験：100%									
授業を受けるにあたっての留意点など									
授業で使用する教科書、プリントは忘れずに持参しましょう。 グループワークの目的を考え、積極的にワークに臨みましょう。									

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						2 年次 後期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
国際文化						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
この授業では、多文化共生を考える上で参考となる外国籍の方々や国際協力に実際に取り組まれた方々を講師に迎え、具体的な実践例などを伺い、多文化共生社会の現状や課題について多角的に考える。そして、それらの解決に向けての取り組みを進め、将来の看護師としての仕事に生かすことを目的とする。									
到達目標									
1. 文化の多様性と個人や集団の生活のあり方との関係を説明できる 2. 国や地域、文化や人種などあらゆる違いを超えた人々の暮らしを具体的に述べるができる 3. 松本地域の多文化共生について学び、異文化交流に参加する									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	地域をつくる人間関係、人間関係論、家族看護論			
◎					◎				
教科書・参考図書									
教科書なし									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	日本における多文化共生の歴史	・この講座の概要を示し、これまでの定住外国人の歴史の説明を行う。(成績評価方法)				外部講師	事前：シラバスの内容に目を通す 事後：復習をする		
第2回	医療現場で在定住外国人が直面する課題	・医療現場で在定住外国人が直面する課題全般について学ぶ。定住外国人の医療現場での課題に関する事例研究の準備としてグループディスカッションのテーマや課題提供者に対する質問を考える。				外部講師	事前：単元内容について調べてみる 事後：復習する		
第3回	事例研究① 日本の病院での出産に関わる課題	・日本の病院で出産時に経験したことについての話題提供。グループワーク(話を聞いての感想と日本の病院での定住外国人の困りごとについて考える)				外部講師	事前：単元内容について調べてみる 事後：復習する		
第4回	事例研究② イスラム教の特徴に関わる医療現場における課題	・祈り、服装(ヒジャブ)、食の戒律、ラマダン(断食月)などについての情報提供。グループワーク(話を聞いての気づきとイスラム教徒が入院してきた場合の対応について考える)				外部講師	事前：単元内容について調べてみる 事後：復習する		
第5回	地域医療と国際協力①	・上田市の歯科医師と連携してカンボジアにおいて国際協力に携わった歯科衛生士に、カンボジアでの経験を学ぶ。				外部講師	事前：単元内容について調べてみる		
第6回	地域医療と国際協力②	・上田市において小児歯科・予防歯科診療に携わってきた歯科医師に歯科医療の国際協力に関わった経験をもとに地域社会と医療の在り方について学ぶ。				外部講師	事前：単元内容について調べてみる 事後：復習する		
第7回	地域における多文化共生	・国際結婚や外国籍児童が直面する課題と地域の日本語教室が果たす役割について学ぶ。国際結婚や外国籍児童が直面する課題に関する事例研究の準備としてグループディスカッションのテーマや話題提供者に対する質問を考える。				外部講師	事前：単元内容について調べてみる		

第8回	事例研究③ 国際結婚に伴う課題について	・国際結婚に伴う問題(言葉、文化の違い、帰化、相続等)についての話題提供。グループワーク(話を聞いて課題解決に向けて考える)	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第9回	事例研究④ 外国籍児童の課題について	・外国籍児童が抱える問題(文化、習慣の違い、言葉の壁等)についての話題提供。グループワーク(話を聞いて問題解決に向けて考える)	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第10回	日本で働く在留外国人が直面する課題	・日本で働く在留外国人が直面する課題全般について学ぶ。在留外国人の労働における課題に関する事例研究の準備としてグループディスカッションのテーマや話題提供者に対する質問を考える。	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第11回	事例研究⑤ 技能実習生が職場で抱える問題	・技能実習生が職場でどんなことに困っているのか、その課題についての話題提供。グループワーク(話を聞いての感想と日本の医療制度を含めた課題解決について考える)	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第12回	事例研究⑥ 日本の企業での修業及び企業に関する課題	・定住外国人が日本企業で直面する問題や起業する場合の課題についての話題提供。グループワーク(話を聞いての感想と課題解決について考える)	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第13回	やさしい日本語の取り組みについて	・阪神淡路大震災をきっかけに始まったやさしい日本語の取り組みについて学ぶ。実際にやさしい日本語への書き換えの実習をする	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第14回	医療現場におけるやさしい日本語について	・医療現場において必要なやさしい日本語について学び、医療現場でのやさしい日本語を使ったコミュニケーションを習得する。	外部講師	事前:単元内容について調べてみる 事後:復習する
第15回	筆記試験	・まとめ	専任教員	
評価方法				
筆記試験:100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
グループワークが多く含まれる授業になります。ディスカッションには積極的に参加し、自己の考えを伝え合いましょう。また、事前準備として単元内容の予習を行い、事後には必ず復習をして授業内容の理解を深めてください。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 前期		1 単位 15 時間	
科目名						科目種類		担当教員	
生活行動からみるからだ						講義		専任教員	
授業の目的および概要									
人が生活するとは、生命を維持し存続するための営みです。この生命の営みそのものが、私たちの日常生活になります。ここでは、普段気がつかない当たり前の生活を振り返り、ひとが生活するための「動く」「食べる」「トイレに行く」など日常生活行動のからだの仕組みについて理解し、今後の看護学の土台となる知識をつけることを目的としています。									
到達目標									
1. 自分の生活を観察し日常生活行動とは何か述べられる 2. 日常生活行動からみたからだの仕組みが述べられる									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、共通看護技術、食事・排泄援助技術、活動・休息援助技術			
◎	◎								
教科書・参考図書									
人体の構造と機能③ 形態機能学 メヂカルフレンド社 解剖生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 看護形態機能学 生活行動からみるからだ 日本看護協会出版会									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 日常生活行動とは？	● 授業の概要と目標、授業の進め方について説明、評価について説明 ● 普段気がつかない当たり前の自分の生活を観察する ▶ 起床から就寝迄やったことの記録 ▶ 1日の生活の中で「これがないと生きていけない」という日常生活行動とは ▶ 1日の生活記録から気づいたこと				専任教員	事前：シラバスの内容を確認する。		
第2回	日常生活行動のからだの仕組み③「食べる」	● 人が生活するための「食べる」 ● 食べている時笑ったら鼻からうどんが出るのはなぜ？ ● 起きているときは3回ご飯食べるのに寝ている時は食べなくても大丈夫なの？ ▶ 「食べる」ために必要なからだの機能、 ▶ 「食べる」ための日常生活行動				専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する		
第3回	生活行動からみたからだの仕組み④「トイレに行く」	● 人が生活するための「トイレに行く」 ● おしっこした時刻と量、飲んだ水分の時刻と量を記録し、比べてみよう ● 排便の記録を2週間つけて排便パターンを確認しよう！ ▶ 「おしっこをする」「ウンチをする」ために必要なからだの機能 ▶ 「トイレに行く」ための日常生活行動				専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する		
第4回	生活行動からみたからだの仕組み⑤「眠る」	● 人が生活するための「眠る」 ● 寝入りばなを起こすのはなぜだめなの？ ● 徹夜して勉強すると成績は上がるの？ ▶ 「眠る」ための必要なからだの機能 ▶ 「眠る」ための日常生活行動				専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する		

第5回	生活行動からみたからだの仕組み⑥「コミュニケーションをとる」	• 人が生活するための「コミュニケーションをとる」 • 耳が聞こえなかったら、どうやって会話するの？ • 外国語は聞こえても分からないのはなぜ？ ▶「コミュニケーションをとる」ために必要なからだの機能 ▶「コミュニケーションをとる」ための日常生活行動	専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する
第6回	日常生活行動のからだの仕組み①「動く」	• 人が生活するための「動く」 • 骨には神経・血管があるの？ • 肘関節が後ろに曲がらないわけ？ ▶「動く」ために必要なからだの機能 ▶「動く」ための日常生活行動	専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する
第7回	日常生活行動のからだの仕組み②「息をする」	• 人が生活するための「息をする」 • 寝ている時なぜ息がとまらないの？ • たくさん息を吐くとたくさん息を吸えるのはなぜ？ ▶「息をする」ために必要なからだの機能 ▶「息をする」ための日常生活行動	専任教員 ワーク	事後：授業内容を復習する
第8回	筆記試験		専任教員	
評価方法				
筆記試験：100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
この科目は看護形態機能学の解剖生理の知識と基礎看護技術や各看護学を学ぶにあたり、生活行動からみるからだの仕組みを学ぶものです。難しい専門用語を少しでも分かりやすく理解しやすくするためにできるだけ、毎回ワークを入れながら進めていきます。また、授業が終わったら单元ごとまとめプリントをして、その都度ポイントを押さえていきましょう。筆記試験の範囲が広いので、毎回のワークや单元まとめプリントをきちんと理解していきましょう。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						1 年次 後期		1 単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
からだの健康						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
日常生活活動や運動は心身機能に関連し、健康を維持しています。生涯における「心身の健康」を保持・増進するため、運動を通じ解剖学・生理学を基盤とした知識を身につけることとします。また専門職業人となる自分自身の体調を整えるための身体活動を学習し、実技体験からも理解を深めることとします。									
到達目標									
1. 健康と運動の関連について理解し、看護実践への運用について述べることができる。 2. 自己の体調・健康管理につなげられる知識と方法を説明することができる。 3. 心身の疲労を癒し健康を回復するための方法を学び、自己の生活で応用することができる。									
この授業が目的としている DP や関連する科目									
DP との関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	心理学、人間関係論、生活行動からみるからだ、看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ、こころの健康、活動・休息援助技術			
				◎	◎				
教科書・参考図書									
実習で学ぶ 健康・運動・スポーツの科学 九州大学健康・スポーツ科学研究会 大修館書店									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 健康を知る	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明 ・体の健康と心の健康について知る				外部講師	事後：看護形態機能学Ⅰを踏まえて体の健康についてまとめる		
第2回	健康を知る	・総論 体の健康と心の健康について知る				外部講師 GW	事後：GWのまとめ		
第3回	身体を知る ①	・体組成を知る ▶BMI、皮下脂肪の測定方法				外部講師	事後：講義の内容から、自己の身体状況をまとめる		
第4回	身体を知る ②	・体組成を計る ▶エネルギー摂取と消費				外部講師	事前：有酸素運動の意義を考えてくる		
第5回	チームで活動する①	・チームスポーツの意義と実践 ▶ソフトバレーボール				外部講師 実践 (体育館)	事前：チームスポーツを通して学べる事を調べる		
第6回	チームで活動する②	・チームスポーツの意義と実践 ▶ソフトバレーボール				外部講師 実践 (体育館)	事後：ソフトバレーボールからチームで活動することの意味を考える		
第7回	身体を知る ③	・身体活動量を計る ▶運動機能の測定と評価の方法について知る				外部講師	事後：看護師の仕事と身体活動量の関係について調べる		
第8回	身体を知る ④	・身体活動量を計る ▶運動機能測定の実際				外部講師	事後：測定した運動機能をまとめる		
第9回	エクササイズ①	・エクササイズとストレッチングの効果 ▶エクササイズを知る ▶静的ストレッチングと動的ストレッチングの効果 ▶身体のROMを制限する因子について				外部講師 演習	事前：教科書P74～75を読んでおく		

第10回	エクササイズ②	・エクササイズとストレッチングの実践	外部講師 演習	事後：自己の生活の中でストレッチングの実践を行う
第11回	セルフケア①	・心身を癒すための呼吸法 ▶呼吸法の効果を知る ▶GW：呼吸の変化が起こりやすい場面の共有を行う	外部講師 GW	事前：自己の生活の中で呼吸の変化が起こるタイミングを書きだす
第12回	セルフケア②	・心身を癒すための呼吸法 ▶呼吸法の実践	外部講師 演習	事後：呼吸法の実践を行い、効果についてまとめる
第13回	セルフケア③	・自重トレーニング1総論 ▶自重トレーニングの効果を知る	外部講師 GW	事前：自重トレーニングがセルフケアに役立つ場面を調べる
第14回	セルフケア④	・自重トレーニング2実践 ▶自重トレーニングの実践	外部講師 演習	事後：自重トレーニングの効果についてまとめる
第15回	筆記試験	・まとめ	専任教員	
評価方法				
筆記試験：60% レポート：テーマ例「有酸素運動の効果」 20% 各授業での作業課題 20%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
・講義と実技、それぞれ使用する物品を忘れずに持参して下さい。 ・実技の際は、動きやすい服装と運動靴で受講して下さい。				

分野						開講時期		単位(時間)	
基礎分野						3年次 前期		1単位 30時間	
科目名						科目種類		担当教員	
ナースの外国語						講義		外部講師	
授業の目的および概要									
言語は、その国の文化・習慣を知り、そこに生活する人間を理解する媒体です。外国語、やさしい日本語に触れることで、日本語を母語としない患者に接した時、ナースとして患者の理解に繋がります。ここでは、英会話の基本から、松本地域に多い外国語に触れ、外国人が松本地域で生活するうえで必要な外国語、災害時に必要な外国語を知ること、医療を必要とする外国人患者のケアが行えるために知っておくべき英会話、やさしい日本語の理解ができることを目的とします。									
到達目標									
1. 松本地域に多い外国語の基本的会話を知り、発音・聞き取りの基本を述べられる 2. 日本語を母語としない外国人への対応としてナースとして知っておくべき外国語、やさしい日本語が列挙できる 3. ナースとして対応する際の基本的な英会話、やさしい日本語が実践できる									
この授業が目的としているDPや関連する科目									
DPとの関連性						関連する科目			
①	②	③	④	⑤	⑥	人間関係論、健康と社会、地域をつくる人間関係、チーム医療、看護の本質、共通看護技術、在宅看護論入門、家族看護論、国際文化			
◎		◎			◎				
教科書・参考図書									
松本市発行：多言語生活ガイドブック、外国人住民のための防災ハンドブック									
授業計画	授業内容					担当/ 講義方法	授業外学習		
	主題(単元)	内容							
第1回	授業ガイダンス 多言語生活：英語	・授業の概要と目標、授業の進め方について説明、担当講師や評価について説明 ・多言語生活：英語での会話 ・①相談窓口 ②緊急の時の電話 ③生活のルール ④町会 ⑤日本の学校 ⑥病気・けが ⑦仕事				外部講師	事前：多言語生活ガイドブック、外国人住民のための防災ハンドブック(日本語版)を読んでくる 事後：講義内容の復習		
第2回	外国人住民のための防災：英語	・外国人住民のための防災：英語での会話 ①地震 ②大雨・洪水・土砂災害 ③台風 ④避難とふだんからの準備 ⑤防災の情報				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		
第3回	多言語生活：中国語	・多言語生活：中国語での会話 ①相談窓口 ②緊急の時の電話 ③生活のルール ④町会 ⑤日本の学校 ⑥病気・けが ⑦仕事				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		
第4回	外国人住民のための防災：中国語	・外国人住民のための防災：中国語での会話 ①地震 ②大雨・洪水・土砂災害 ③台風 ④避難とふだんからの準備 ⑤防災の情報				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		
第5回	多言語生活：ポルトガル語	・多言語生活：ポルトガル語での会話 ①相談窓口 ②緊急の時の電話 ③生活のルール ④町会 ⑤日本の学校 ⑥病気・けが ⑦仕事				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		
第6回	外国人住民のための防災：ポルトガル語	・外国人住民のための防災：ポルトガル語での会話 ①地震 ②大雨・洪水・土砂災害 ③台風 ④避難とふだんからの準備 ⑤防災の情報				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		
第7回	多言語生活：タイ語	・多言語生活：タイ語での会話 ①相談窓口 ②緊急の時の電話 ③生活のルール ④町会 ⑤日本の学校 ⑥病気・けが ⑦仕事				外部講師 演習	事後：講義内容の復習		

第8回	外国人住民のための防災:タイ語	- 外国人住民のための防災:タイ語での会話 ①地震 ②大雨・洪水・土砂災害 ③台風 ④避難とふだんからの準備 ⑤防災の情報	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第9回	多言語生活:タガログ語	- 多言語生活:タガログ語での会話 ①相談窓口 ②緊急の時の電話 ③生活のルール ④町会 ⑤日本の学校 ⑥病気・けが ⑦仕事	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第10回	外国人住民のための防災:タガログ語	- 外国人住民のための防災:タガログ語での会話 ①地震 ②大雨・洪水・土砂災害 ③台風 ④避難とふだんからの準備 ⑤防災の情報	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第11回	ナースの外国語①	- 病院編:英会話 ①入院 ②検温 ③ケア ④相談など一場面を設定し英会話を実施	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第12回	ナースの外国語②	- 病院編:英会話 ①外来 ②検査 ③相談など一場面を設定し英会話を実施	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第13回	ナースの外国語③	- 施設編:英会話 ①入所 ②日常ケア ③レクリエーション ④リハビリ	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第14回	ナースの外国語④	- 在宅編:英会話 ①訪問 ②日常ケア ③処置 ④家族指導など一場面を設定し英会話を実施	外部講師 演習	事後:講義内容の復習
第15回	筆記試験	まとめ	専任教員	
評価方法				
筆記試験:100%				
授業を受けるにあたっての留意点など				
授業に来てくださる松本地域在住の外国人や通訳さんたちと積極的にコミュニケーションをとってください。言葉が分からなくてもボディランゲージでなんとかコミュニケーションをとる努力をしてください。全部講義が終了する頃には、多言語について少しずつでも「わかる」になっているよう、楽しんで講義を受けましょう。				